

旧制高等学校OB杯 北信越大学サッカーリーグ
第46回（2018年度）1部リーグ大会要項

1 目的

このリーグは、北信越地域の大学が北信越地域の覇者たることと、全日本大学サッカー選手権大会に北信越代表として出場する榮譽を競うとともに、競技を通じ体力と人格の向上を期し、併せてサッカー競技の普及発展に寄与することを目的とする。

2 主催

一般社団法人 北信越サッカー協会 北信越大学サッカー連盟

3 主管

一般社団法人 新潟県サッカー協会
公益社団法人 富山県サッカー協会
一般社団法人 石川県サッカー協会
一般社団法人 福井県サッカー協会
一般社団法人 長野県サッカー協会
各県大学（学生）サッカー連盟

4 後援

坂井市教育委員会

5 開催期間

2018年4月～2018年11月

6 競技規定

本年度の公益財団法人 日本サッカー協会競技規則による。

7 参加資格

(1) チーム

- ①本年度に公益財団法人 日本サッカー協会並びに一般社団法人 全日本大学サッカー連盟に登録され、登録費を納入した単独の大学の学生を以て構成されているチームであること。
- ②全日本大学サッカー選手権大会まで試合を続けられる運営体制を備えているチームであること。
- ③選手は30名まで登録することができる。外国籍選手は1チームあたり5名までとする。

(2) 選手

- ①本年度、当該チームの所属選手として、公益財団法人 日本サッカー協会並びに一般社団法人 全日本大学サッカー連盟に登録され、登録費を納入済みである者。当該大学の学生であったとしても、北信越フットボールリーグや各県社会人リーグ等、他のチームの選手として登録されている者は、移籍手続きが完了するまで、本リーグに出場することはできない。
- ②リーグ期間中に社会人チームに移籍した選手は、本年度中に当該チームに復帰することはできない。
- ③試合出場にあたっては、公益財団法人 日本サッカー協会電子登録証選手証の確認ができればならない。
- ④出場資格について疑義がある場合は、北信越大学サッカー連盟で審議する。

(3) 監督

- ①本年度において、当該チームの監督として、公益財団法人 日本サッカー協会に登録された者であること。
- ②原則、指導者ライセンスC級以上を有すること。
- ③なお、本リーグの監督は北信越フットボールリーグ及び各県社会人リーグ等、他チーム監督を兼ねることはできない。
- ④やむを得ず大会期間中に、監督が交代する場合は、北信越大学サッカー連盟の了承を得るものとする。

(4) 帯同審判

- ①参加チームは、3級以上の審判員3名以上（延べ数）を帯同審判員として登録しなければならない。確保は8月末日までに行わなければならない。

- ②帯同審判員は、当該大学（大学院を含む）の学籍を持つ者でなければならない。ただし、帯同審判員は当該大学のサッカー部員である必要はない。
- ③帯同審判を準備できなかったチームは、次年度2部リーグに自動降格する。

8 試合形式

(1) リーグ形式

リーグは、前期リーグと後期リーグで分けて実施する。前期リーグは、11チームによる1回戦総当たりとする。後期リーグは、前期の成績上位6チームによる1回戦総当たりの決勝リーグ（1～6位決定リーグ）と、下位5位チームによる1回戦総当たりの7位決定リーグ（7～11位決定リーグ）に分け、実施する。

(2) 順位の決定方式

順位は、勝ち点の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。勝点合計が同じ場合は、以下の順位により決定する。

- ①リーグ戦でのゴールディファレンス（得点－失点）
- ②リーグ戦での総得点
- ③当該チームの対戦成績の勝利数
- ④フェアプレーポイント
- ⑤前年度リーグ順位

(3) 最終順位の確定

最終順位は、前期リーグの結果と後期リーグの結果を総合して決定するものとする。

(4) 2部降格

セカンドリーグの結果、9、10、11位となったチームは、次年度2部リーグに降格する。8位チームは、2部優勝チームとプレーオフを行い、プレーオフの勝者を次年度1部所属とする。

ただし、1部チームの中に帯同審判員の確保ができなかった等の事情が生じた場合、入替戦を実施しないこともある。

9 試合方法

試合の競技規則は本年度の公益財団法人 日本サッカー協会の競技規則による。

(1) リーグの試合時間

前半45分、後半45分の計90分で行われる。決着がつかない場合は引分けとする。

(2) 入替戦の試合時間

入替戦は1部チームをホームとし、前半45分、後半45分の計90分で行われる。決着がつかない場合は、ペナルティ・キック方式により、勝者を決定する。

(3) エントリー選手

リーグ、入替戦を問わず、1試合のエントリー選手は20名までとする。交代に関しては、登録した交代要員から5名まで交代できる。

(4) ベンチ入りできる役員

リーグ、入替戦を問わず、ベンチ入りできる役員は5名までとする。

(5) ベンチ入りする者の服装

リーグ、入替戦を問わず、ベンチ入りする役員・選手はピッチ内の選手・審判と区別できる服装をしなければならない。

10 懲罰

(1) 出場停止

本リーグで主審により退席・退場を命じられた者は、当該試合以降に行われる公式戦（本リーグを含む）に、最低1試合出場することはできない（繰り返した場合は最低2試合）。出場停止及び追加の処分等については、北信越大学サッカー連盟規律・フェアプレー委員会が審議、決定する。

なお、選手・監督等が出場停止処分を受けた場合、フィールドのほか、ベンチ・ロッカールーム等の区域（ADカード等の入場証が使用される場合、そのカード等によって立ち入りが制限される区域）に立ち入ることはできない。

(2) 累積警告

本リーグにおける警告回数が累積3回となった選手は、本リーグ（プレーオフを含む）の次の1試合に出場することができない。警告累積が再度3回となった選手は、次の2試合に出場することはできない。なお、同一試合で2回の警告を受けて退場となった場合には、その2回の警告は累積警告数に加算しない。

なお、北信越大学サッカー連盟規律・フェアプレー委員会による出場停止処分と、累積警告による出場停止処分が重なった場合は、規律・フェアプレー委員会による出場停止処分を優先する。

1 1 表彰

(1) チーム表彰

優勝チームには、旧制高等学校OB杯と賞状を授与する。次勝、第3位のチームにはそれぞれ賞状を授与する。

(2) 選手表彰

最優秀選手、得点王、アシスト王を決定し、これを表彰する。また技術委員会はリーグで秀でたプレーをみせた11名を選出し、ベストイレブンとして表彰する。

(3) フェアプレー賞

フェアプレーポイントが最も良かったチームに対し、フェアプレー賞を授与する。フェアプレーポイントの算出方法は、北信越社会人リーグの規定に準拠するものとする。

なお、フェアプレー賞の授与に関しては試合数を考慮するものとする。

1 2 全日本大学サッカー選手権大会への出場

優勝チームは、全日本大学サッカー選手権大会に出場する権利と義務を有する。出場枠が2校の場合、次勝チームを全日本大学サッカー選手権大会に出場する第2代表とする。

1 3 初回登録方法

(1) 3月21日(水)までに『2018Entry_Seat(大学名)』(3月4日以降に各チームに送付予定)にチーム情報入力シート及び選手登録シートに必要事項を入力して、事務局(kanazawa_gakuin@yahoo.co.jp)へ送信してください。

なお、初回登録選手の背番号は、原則1番から30番とし、追加選手がいる場合でも50番までとします。(初回登録にGKが複数人いる場合は、31～50番でも許可します。)

(2) 集合写真データ及び個人写真データをメールにて送信してください。(kanazawa_gakuin@yahoo.co.jp)

※写真のファイル名に背番号と氏名を入れてください。

1 3 登録の追加・変更

(1) 申請方法

配布している『2018Entry_Seat(大学名)』を修正して事務局までメール送信してください。

※追記や変更した箇所を赤色で入力して提出してください。

※同じ背番号は使用できませんので注意してください。

(2) 申請期限

第1次追加・変更登録締切：4月4日(水)⇒4月7日(土)以降の試合に出場可能

第2次追加・変更登録締切：4月30日(月)⇒5月3日(木)以降の試合に出場可能

第3次追加・変更登録締切：7月4日(水)⇒7月7日(土)以降の試合に出場可能

第4次追加・変更登録締切：9月19日(水)⇒9月22日(土)以降の試合に出場可能

第5次追加・変更登録締切：10月13日(水)⇒10月16日(土)以降の試合に出場可能

1 4 参加費について・・・28万円(10万円、10万円、8万円の3分納可)

・初回振込締切：4月4日(水)

・二回目振込締切：7月4日(水)

・最終振込締切：8月22日(水)

〔振込先〕(※北信越大学サッカーリーグ専用の口座です。)

口座名 金沢学院大学サッカー部 監督 飯高 登起康

口座番号 北國銀行 杜の里支店(店番158) 普通 274560

※振込手数料は、各チーム負担でお願いします。

※振込者には、必ず大学名を記入してください。

1 5 本大会のホームページ・・・<http://hufl.info/>

※各種帳票がダウンロードできます。

※運営責任校においては、必ずホームページの情報に誤りがないかを、確認してください。

運営担当大学(主管校)の役割

・試合までに準備する書類について

様式名	1 試合あたりの必要枚数
・ マッチミーティング資料	MC・審判団(4名分)・両チーム分
・ マッチコミッショナー報告書	1 枚(2ページあり)
・ 審判報告書	1 枚
・ 重要事項報告書	数枚(一発退場があった場合に使用)
・ 記録用紙	2 枚(B4またはA3サイズに拡大印刷) 出来れば両面印刷

・試合直後の役割①(ケータイメールでの結果送信)・・・試合直後 1 時間以内に送信

試合結果をリーグ事務局ケータイアドレス(下記アドレス)へ送信

報告内容・・・マッチナンバー及び試合結果

(連絡先) リーグ事務局 金沢学院大学 杉田諒一郎 (080-6358-7081 ryolro.sugi.1208@ezweb.ne.jp)

※試合結果にかかわらず、ホームチームを左に記載してください

・試合直後の役割②【一発退場があった場合】・・・試合が行われた日のうちに必ず

河村委員長へ電話連絡 (Tel:090-2375-6821)

(重要事項報告書を手元に置き、状況等を説明)

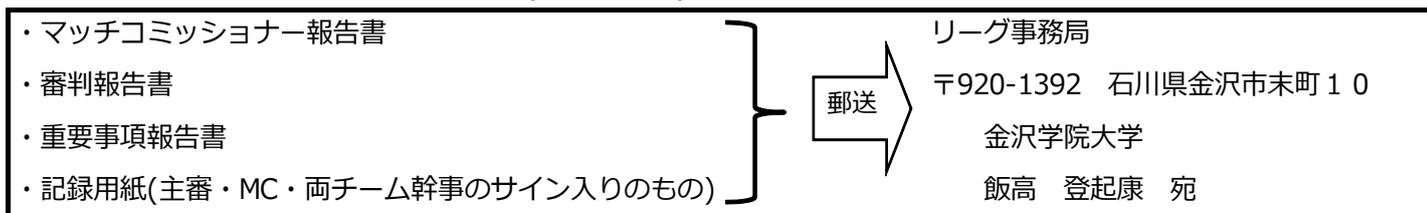
・試合後の役割③(データ入力後メール送信)・・・試合当日の晩までに

公式記録を記録用紙のフォーマットに打ち込み、リーグ事務局へメール送信

Kanazawa_gakuin@yahoo.co.jp (リーグ事務局 金沢学院大学 杉田宛)

・試合後の役割④(書類の郵送)・・・試合翌日までに発送

以下すべての原本を、リーグ事務局へ(金沢学院大)



以下のコピーを北信越サッカー協会審判委員長へ発送(一発退場があったときのみ)



その他不明な点は、リーグ事務局(金沢学院大学)までご連絡ください

学生幹事 豊田健人 090-5685-3243 事務局長 飯高 登起康 090-2125-4320

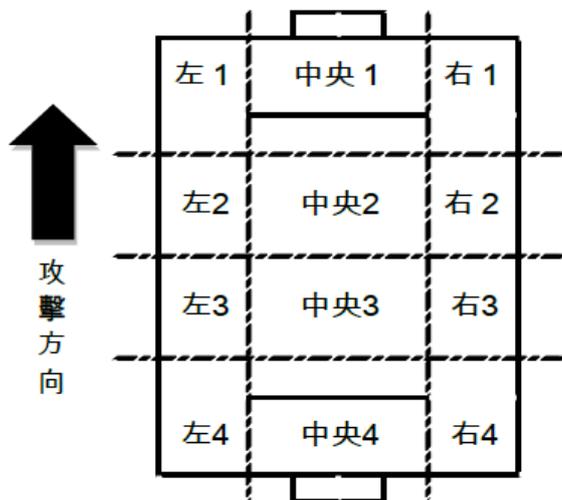
この冊子には、個人情報が含まれております。取り扱いには充分ご注意ください。

公式記録用紙 得点経過欄の記入について

プレーが行われたサイドを3分割にし、攻撃チームから見て「左・中央・右」と表します。

タッチラインか方向を4分割にし、相手ゴールに近い方から「1・2・3・4」と表します。

これからの組み合わせにより、ピッチを12分割してプレーが行われた場所を表します。



記録用紙への記入方法

- ・シュート
- ・ゴールキック(GK)
- ・コーナーキック(CK)
- ・直接フリーキック(直接FK)
- ・間接フリーキック(間接FK)
- ・ペナルティキック(PK)

以上のプレーについてはつぎの通り「斜線」で記入(カウント)してください。
1つ目 \ 2つ目 X 5つ目 XX \

シュートについては前後半の45分をそれぞれ15分ずつに区切ったマスに記入し、成功したシュートには斜線の頭に○を付けてください。

例)3本目のシュートが成功 X[○]

試合終了後、各項目の合計欄に数値を記入してください

以上の斜線でのカウントは、フォーマットへのデータ入力時に、数値に直して打ち込んでください。

用語	具体的な事項
セットプレー他	
直接FK	直接フリーキック
間接FK	間接フリーキック
PK	ペナルティキック
右CK	攻撃側から見て右サイドのコーナーキック
左CK	攻撃側から見て左サイドのコーナーキック
GK	ゴールキック
スローイン	スローイン
こぼれ球	こぼれ球
x	混戦
ポスト返り	ゴールポストに当たった跳ね返り
バー返り	クロスバーに当たった跳ね返り
プレーヤー	
(数字)	攻撃側プレーヤーの背番号
相手FP	守備側チームのフィールドプレーヤー
相手GK	守備側チームのゴールキーパー
プレー	
ワンタッチプレー	ファーストタッチでのパス・シュート・ボールを止めないプレー
2タッチ以上	ドリブルにならない複数回のボールタッチ
~	ドリブル
→	グラウンダーのパス
↑	浮き球のパス
H	ヘディング(パス)
インターセプト	インターセプト、カットプレー
スルー	スルー
クリア	守備側のプレーヤーのクリアミス
ミス	プレー上でのミス、トラップミス
右足S	右足でのシュート
左足S	左足でのシュート
HS	ヘディングシュート
S	頭・足以外の部位でのシュート
OG	守備側プレーヤーによる得点(オウンゴール)
?	不明

記録用紙下部「得点経過」欄への記入例(2つ前のプレーからを記入の基本としてください)

前半 20分 30秒。△△大学。左2の位置で直接FK(No.8)が浮き球のパス。それを中央1の位置でNo.4がヘディングシュート。

後半 30分 50秒。▲▲大学。右2の位置からNo.13がドリブルで右1に進み、浮き球のクロス。中央1でNo.11が右足シュート。

後半アディショナルタイム(46分 10秒)。▲▲大学。左CKでNo.28が浮き球のクロス。中央1の位置でNo.13がヘディング。中央1へのこぼれ球の混戦から中央1の位置でNo.10が左足シュート。

得点経過	記載例	→:ゴロパス	↑:浮かせたパス	~:ドリブル	S:シュート	H:ヘディング	HS:ヘディングシュート																
時間	チーム名	No.	得点者	No.	アシスト	No.	アシスト	スコア	得点経過 (2プレー前からの場所、選手、プレー内容)														
21	△△大学	4	○○	8	●●			1 - 0	左2	FK	8	↑	中央1	4	HS								
76	▲▲大学	11	◇◇	13	◆◆			1 - 1	右2	13	~	右1	13	↑	中央1	11	右足S						
90+2	▲▲大学	10	□□					1 - 2	左CK	28	↑	中央1	13	H	中央1	こぼれ球	X	中央1	10				
								-	左足S														

1段で書ききれない場合は二段にわたって記入

『どこで・誰が・何をした』の順で記入

記入例

第41回北信越大学サッカーリーグ 記録用紙 記録用紙



1部 前期 第1節	試合 No. M1-13	会場	北陸大学フットボールパーク (石川県金沢市)		
日時	2013年 5月 4日 (土)	キックオフ	10:01	天候	晴れ
マッチコミッショナー	石川 太郎	記録者	金沢 次郎	ピッチ	天然芝・人工芝
主審	能登 三郎	副審1	加賀 四郎	副審2	富山 五郎
				第四審	高岡 六郎

ホームチーム			アウェイチーム		
白山大学			立山大学		
勝ち点	6	→	9	Kick off	勝ち点
					3
					→
					3

No	OUT時間	シュート数		得点	選手名	No	ポジション	No	選手名	得点	シュート数		交替
		後半	前半								前半	後半	
					川島 永嗣	21	GK	1	川口 能活				
					駒野 友一	3	DF	2	名良橋 晃				
					田中 闊莉王	4		3	相馬 直樹				
					長友 佑都	5		4	井原 正巳				
					中澤 佑二	22		17	秋田 豊				
83					阿部 勇樹	2	MF	6	山口 素弘				
				1	遠藤 保仁	7		8	中田 英寿	1			
70					松井 大輔	8		10	名波 浩				
					大久保 嘉人	16		11	小野 伸二				HT
65					長谷部 誠	17	FW	9	中山 雅史	1			
				1	本田 圭佑	18	FW	18	城 彰二				58
					楢崎 正剛	1	GK	22	小島 伸幸				
					内田 篤人	6	DF	5	小村 徳男				
					岩政 大樹	13	MF	15	森島 寛晃				11
					中村 俊輔	10	MF	14	岡野 雅行				18
17					稲本 潤一	20							
8				1	岡崎 慎司	9	FW						
2					玉田 圭司	11							

データ入力の、得点を表す『』の頭の○は無視し、通常のシュート数として数値に直して打ち込む。

選手の並び順は、ポジション(GK→DF→MF→FW)毎のNo.(背番号)の若い順で記入。

シュート数およびセットプレーのカウント(X/)は、データ入力の際、数値に直して打ち込む。

警告・退場		延後	延前	後半	前半	合計	セットプレー	合計	前半	後半	延前	延後	警告・退場		
時間	選手名												理由	No	選手名
88	川島 永嗣			XX	XX\	9	GK	13	XXX	XX\			C2	17 秋田 豊	22 分
90+3	田中 闊莉王			X	X\	5	CK	2	X	\			C1	3 相馬 直樹	62 分
				XX	X	6	直接FK	12	XXX	XXX			C2/S7	3 相馬 直樹	90+2 分
				XX	XX	8	間接FK	7	XX	X\					分
							PK	1		\					分

警告理由 C1:反スポーツ的行為 C2:ラフプレイ C3:異議 C4:繰り返し反則 C5:遅延行為 C6:距離不足 C7:無許可入 C8:無許可出
退場理由 S1:著しく不正なプレイ S2:乱暴な行為 S3:つば吐き S4:得点機会阻止(手) S5:得点機会阻止(他) S6:侮辱 S7:警告2回

時間	チーム名	No	得点者	No	アシスト	No	アシスト	スコア	得点経過 (2プレー前からの場所、選手、プレー内容)				
17	白山大学	18	本田					1 - 0	右2	直接FK	18	右足S	
28	白山大学	7	遠藤					2 - 0	中央1	直接FK	7	右足S	
61	立山大学	9	中山	8	中田			2 - 1	右2	8	~	右1	8 ↑ 中央1 9 HS
87	白山大学	9	岡崎	18	本田			3 - 1	中央2	7	→	中央1	18 → 中央1 9 左足S
90+3	立山大学	8	中田					3 - 2	PK	右足S			

ダブルアシストの定義について

明確な基準がなく、記録者の判断とされておりますが、得点を直接アシストした選手(ラストパスを出した選手)のパスが時間を要さないワンタッチである場合は、アシスト者へパスを送った選手をダブルアシストとしてください。

ホームチーム幹事署名	小松 七郎	アウェイチーム幹事署名	黒部 八郎
主審署名	能登 三郎	マッチコミッショナー署名	石川 太郎